

# 豊後大野市立菅尾小学校アクションプラン2015

## 学校教育目標

## ふるさとを愛し、心と体を鍛え、知を研く子どもの育成

重点目標	基礎基本の定着と活用力の向上	豊かな心の育成	基礎体力の向上	ふるさと学習の推進
達成指標 具体目標	市学力調査において、すべての学年で全国の平均正当率を上回る。	「学校へ来ることが楽しい」と回答する子の割合を100%にする。	「運動をすることが好き」と回答する子の割合を80%以上にする。	「ふるさと学習をすることが好き」と回答する子の割合を90%以上にする。
達成指標	①「勉強がわかる」と回答する子の割合を90%以上にする。 ②年間に、低学年は120冊以上、高学年は7000ページ以上読む。 ③「家庭学習をめあすの時間いっぱいがんばる」と回答する子の割合を90%以上にする。	①「進んであいさつをすることができる」と回答する子の割合を90%以上にする。 ②「思いやりのある言葉を使っている」と回答する子の割合を90%以上にする。 ③「なかよし班活動が楽しい」と回答する子の割合を90%以上にする。	①「サーキットトレーニングを体育授業に取り入れた時間」の割合を90%以上にする。 ②「天気の良い日は、外で遊んでいる」と回答する児童を80%以上にする。	①、「ふるさと学習のことを学校は家庭に知らせている」と回答する保護者の割合を80%以上にする。 ②「体験活動やゲストティーチャーとの学習が楽しい」と回答する子の割合を90%以上にする。 ③「ジオパークについての知識が深まった」と回答する職員の割合を100%にする。
取組内容	①児童一人一人の特性に応じた課題を与える。 ②読書活動の工夫・充実を図る。 ③家庭学習の習慣化を図る。	①あいさつ運動の意義と基本形の指導を全校集会で指導し、学級で徹底する。 ②気持ちのよい言葉づかいについて、全校集会で指導し、学級で徹底する。 ③異学年集団（なかよし班）で、協力して活動する場を意図的に設ける。	①バランスのとれたサーキットトレーニングを体育の授業に取り入れる。 ②天気のよい日は外で遊ぶことを月目標の中に取り入れ、全校で外遊びを奨励する。	①ふるさと学習で学んだことを地域や家庭に発信する。 ②体験活動やゲストティーチャーを積極的に活用した授業をおこなう。 ③「ジオパーク」に係る知識を深めるための職員研修の充実を図る。
取組指標	①週2回の朝スキルタイムと放課後キラキラタイムを個に応じた補充学習の時間として取り組む。 ②学期ごとに冊数・ページ数・分類の個人目標を立てさせ、月・火・木の朝読書の時間の15分間と毎週水曜日の家庭読書によって、達成をめざす。 ③保護者へ毎日の連絡ノート確認を依頼し、連携をしながら家庭学習の定着率を高める。	①あいさつ強化週間を学期に1回ずつ設定して指導をすることにより、特に家庭でのあいさつの定着率を高める。 ②学期に1回「言葉について考える集会」と開催したり、帰りの会で「友だちのいいところみつけ」のコーナーを設けるなどして、思いやりのある集団を作る。 ③全校なかよし集会と、週に1回のなかよし班そうじの時間を設定し、毎回活動の終わりにふりかえりの時間を持ち、協力する態度を養う。	①毎時間、体育授業に5分間、サーキットトレーニングを取り入れる。 ②昼休み、週3回以上の外遊びをするように呼びかけるとともに、月1回、全校で行う外遊びを取り入れる。	①学習したことをホームページや学級通信、校内掲示などで発表し、多くの人目に触れる機会を増やす。 ②全学年において、学期1回の現地見学、あるいはゲストティーチャーを招いてのふるさと学習を実践する。 ③校内研修で、職員を対象に学期1回現地見学かジオガイドを招いてのジオパーク研修を実施する。